

なかま
岸和田第4団の仲間になろう
～入団のご案内～



《スカウト章》

日本ボーイスカウト岸和田第4団

(メモ)

I スカウト運動について

1 はじめに

ボーイスカウト岸和田第4団では、男の子、女の子が性別に関わらず、野外活動や奉仕活動など、楽しく活動しながら健全な育成と地域に認められた活動ができるよう団委員長はじめ、リーダー、団委員、保護者が一緒になって子どもたちの活動をサポートしています。

2 スカウト運動の始まり

創始者ロバート・ベーデン・パウエル卿が 1907 年、20 人の少年たちとイギリスのブラウンシー島で行った実験キャンプが始まりです。現在では約 160 の国と地域で2800万人が参加する地球規模の青少年の教育運動となっています。

日本では 1911 年に始めてのボーイスカウト隊が結成されました。



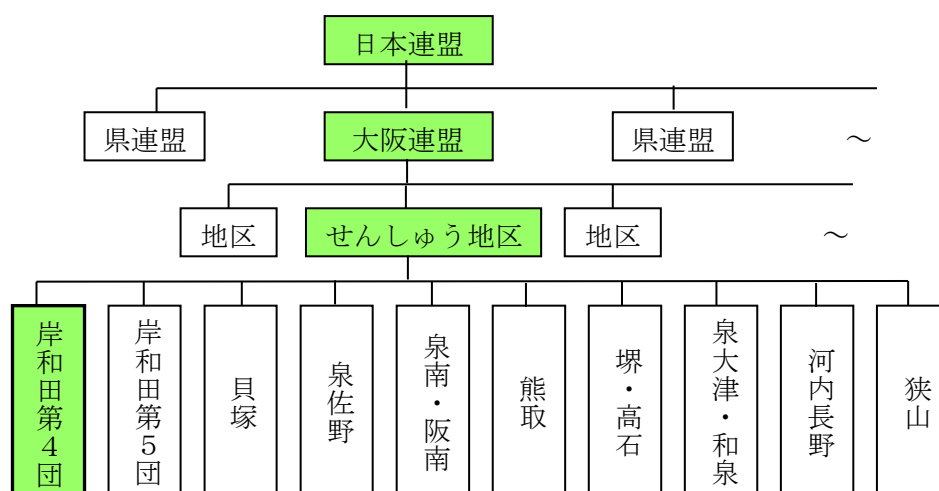
Lord Baden Powell of Gilwell

3 泉州地区の仲間

ボーイスカウトは、スイスのジュネーブに本部を置く世界スカウト機構、日本連盟*、大阪連盟、そしてその中に「せんしゅう地区」があります。

せんしゅう地区には、私たちの岸和田第4団を含めて、たくさんの仲間が活動をしています。

*公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟



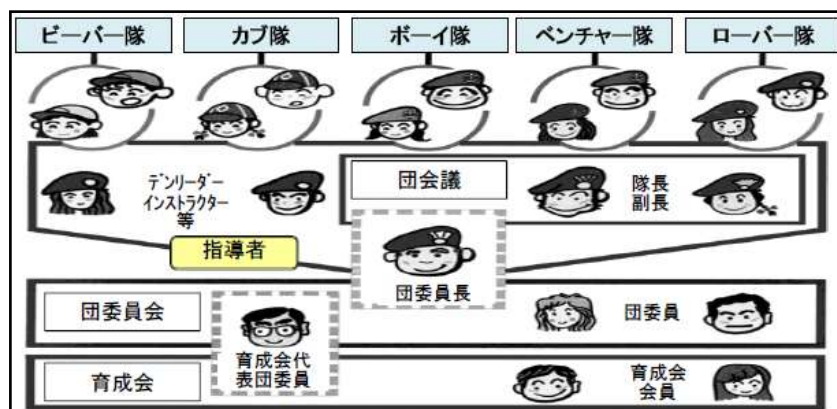
※せんしゅう地区：堺市以南 28 個団

4 スカウト隊の構成と活動

ボーイスカウトは子どもの年齢層にあった育成を行うため、各年齢層でビーバー隊からローバー隊まで5つの隊を構成して活動しています。

また、団委員会や育成会により、隊の活動や団の活動を支援しています。

【岸和田第4団の組織のイメージ】



◆ビーバー隊（小学1年生の4月から）

ビーバースカウトは、ボーイスカウトでは最年少です。「みんなと仲よくあそぶ」「自然に親しむ」「楽しみや喜びを分かちあう」の3つをねらいにしています。

野外活動を中心に自然観察や社会見学、ハイキング、ゲームなど楽しい活動を通して自然に親しみながら社会性や表現力などを伸ばします。

ビーバースカウトの やくそく

ぼくは（わたくし）は みんなとなかよくします。
ビーバーたいの きまりをまもります。

ビーバー隊の きまり

- 1 ビーバースカウトは げんきにあそびます。
- 2 ビーバースカウトは ものをたいせつにします。
- 3 ビーバースカウトは よいことをします。

ビーバースカウトの モットー

なかよし



【 ビーバー隊 】 プログラム例

4 月	入隊式・お花まつり	10 月	社会見学
5 月	市民フェスティバル	11 月	ハイキング
6 月	ホテル観賞 植樹活動	12 月	クリスマス隊集会
7 月	野外活動	1 月	新年隊集会
8 月	星座観察会	2 月	スケート
9 月	清掃活動	3 月	上進式、春木川清掃奉仕活動

◆カブ隊（小学校3年生の4月から）

カブスカウトの活動の目標は、自分で考え、自分のことは自分ですること。みんなでルールを作って楽しく遊ぶこと。自然や社会とふれあうこと。こうして自立心や想像力を養います。

カブ隊は組（デン）を作り、デンコーチ（ボーイスカウト）とデンリーダー（保護者）が補佐しながら組活動を行い、集団を通して良い社会人としての基本を修得します。



カブスカウトの やくそく

ぼくは（わたくし）は まじめにしっかりやります。
カブ隊の さだめを守ります。

カブ隊の さだめ

- 2 カブスカウトは 自分のことを自分でします。
- 1 カブスカウトは すなおであります。
- 3 カブスカウトは たがいに助けあいます。
- 4 カブスカウトは おさないものをいたわります。
- 5 カブスカウトは すすんでよいことをします。

カブスカウトの モットー

いつも元気

【 カブ隊 】 プログラム例			
4 月	入隊式・基本訓練	10 月	野外料理
5 月	市民フェスティバル	11 月	魚釣り隊集会
6 月	清掃活動	12 月	クリスマス隊集会・除夜の鐘つき
7 月	星座観察会	1 月	餅つき隊集会
8 月	夏季舎営	2 月	BP 祭
9 月	進級隊集会	3 月	春季キャンプ・上進式

◆ボーイ隊（小学校6年生の4月から）

ボーイスカウトはテントの張り方、地図の読み方、炊事や工作、自然観察などを楽しく学びます。また、自分のためだけでなく、奉仕の精神を持ち、人のために役立つことの大切さを学びます。



◆ベンチャー隊（中学校3年生の9月から）



「いろいろな場面でリーダーシップを発揮し、またメンバーとしての役割も果たせる人」を目指しています。年代的にも高度な活動ができるようになり、仲間と協調して具体的なプロジェクト活動を立案・実施し、その結果の評価までを一貫して行います。指導者は側面的な支援を行います。

◆ローバー隊（18歳以上）

実際に社会に対して役立つ奉仕ができるよう自己研鑽を積みながら自らを高めていきます。国内の活動のみならず国際理解や協力に努め、国際的なボランティア活動も推進しています。

5 スカウトの「モットー」「スローガン」「ちかい・おきて」

スカウトのモットー

「そなえよ つねに」

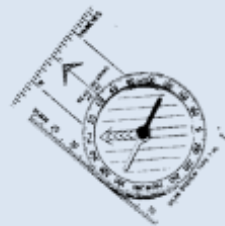
スカウトのスローガン

「日日の善行」

スカウトの ちかい

私は、名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

- 一、神（仏）と国とに誠をつくし、おきてを守ります。
- 一、いつも、他の人々をたすけます。
- 一、からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。



スカウトの おきて

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 スカウトは誠実である | 5 スカウトは快活である |
| 2 スカウトは友情にあつい | 6 スカウトは質素である |
| 3 スカウトは礼儀正しい | 7 スカウトは勇敢である |
| 4 スカウトは親切である | 8 スカウトは感謝の心をもつ |

6 ステップアップ

スカウトの年代にふさわしい育成を行うため、それぞれにふさわしいプログラムを準備しています。

そして、その達成度を示すのが「バッジ」です。いくつかの技能バッジを集めるとステップアップ（進級章）するような組み立てになっています。

スカウトは色々な課題に挑戦して、バッジ集めを楽しみながらスカウトとしての技能を高めていき、その結果、バランスよく成長していきます。

- (1) ビーバースカウトでは、木の葉章や小枝章。
- (2) カブスカウトでは、チャレンジ章（40項目）。
- (3) ボーイスカウトでは、技能章（69項目）
- (4) ベンチャースカウトでは、技能章（69項目）



木の葉章



小枝章



フィッシャーマン



通信博士



チャレンジ章



技能章

Ⅱ 岸和田第4団からのお願い

1 スカウト活動について

各隊では、それぞれの年齢にあった活動を企画し実行しています。
活動予定は、指導者からの連絡やスカウト達の連絡網により連絡しています。
忘れないよう参加してください。
また、家庭においても積極的に参加するよう働きかけてください。

2 スカウトへの指導

子供に対する教育や指導の最も重要な役割を果たすべきは、家庭であり保護者であることは言うまでもありません。

本団では、スカウト活動を通じて、スカウトたちが社会のルールを身に付け健全に成長していくよう指導に努めています。

スカウトの自主性を尊重しながらも、時には厳しく指導することもあります。
本団のスカウトへの指導についてご理解いただくようお願いいたします。



3 家庭におけるスカウト活動への支援

(1) 保護者の支援

スカウト活動は楽しいことばかりではなく奉仕活動などもあります。スカウトが積極的に活動に参加できるよう家庭においてもサポートしてください。

また、各隊のステップアップには家庭でできる内容もたくさんあります。休日などにステップアップ項目を実践するなど、家庭においても子どものステップアップを支援してください。

(2) 保護者の責務

子どもの参加に際して、持病やアレルギーなど配慮すべき事項、当日の健康状態などを、漏れなく指導者に伝えてください。

また、安全に十分気をつけるよう保護者からも言い聞かせてください。

4 団や隊の活動への協力

スカウト活動には多くの大人の協力が必要です。本団では以下のようなボランティアによる協力を得て活動を行っています。



保護者の皆様は活動を支える重要な一員として活動に協力する立場にあることをご理解ください。

決して来賓や傍観者として団や隊の行事に参加していただくものではありません。

(1) 育成会会員としての協力・支援

スカウトの保護者は育成会普通会員となります。団や隊の活動に積極的に協力をお願いします。育成会には普通会員のほか、寄付等により財政的に活動を支援していただく特別会員があります。

(2) 指導者としての協力

指導者は普段は職業等を持ち、ボランティアでスカウトの指導を行っています。指導者の養成やレベルアップのため様々な研修を実施していますので、保護者の方も指導者になってスカウトの育成に協力してください。

(3) 団委員としての協力・支援

各隊がスカウトの指導に専念できるよう団の運営や隊の活動、地域行事、学校行事への参加協力を行っています。学校の PTA のような存在です。保護者の方もぜひご協力ください。

5 活動中のケガ等に対する対応・補償

スカウト活動の実施にあたっては、原則として常に大人が同行し必要に応じて活動予定場所の下見を行うなど、十分な安全管理を行っております。

しかし、野外活動を中心とすることや、家庭では体験することが少ない冒険的な行動を行うことから、ケガを完全に防ぐことは困難です。

万一事故等が発生した場合、応急手当てを行なった後、必要に応じて医療機関を受診することとなります。

本団で加盟登録しているスカウト・指導者は日本連盟の運営する共済に加入しておりますので、支払条件に該当する場合は共済金が支払われます。

なお、本団では共済以外に医療費負担やその他の補償を行なうことはできません。

また、団や隊、指導者個人としても責任は負いませんのでご承知ください。



■そなえよつねに共済の補償概要 平成 30 年度版

活動時の災害死亡保障：2 千万円、後遺障害補償：120 万～3 千万円、入院補償：4 千円/日（180 日限度）、手術補償：6 万円、通院補償：2 千円/日（180 日以内 90 日分限度）

■賠償責任保険

対人賠償：1 事故最大 5 億円（1 名 1 億円まで） 対物賠償：1 事故最大 500 万円

出展 https://www.scout.or.jp/_userdata/kyosai/h30_tebiki.pdf

7 登録料・活動費等とその納入

(1) 活動に要する経費

ボーイスカウト活動にかかる費用は、①登録料・保険料、②活動費、③制服や活動物品購入費などです。(別表参照)

特別な活動、例えばスキーツアーやジャンボリー参加など、臨時の活動費用や参加費が必要となる場合があります。

また、保護者や家族の参加に必要な交通費等の費用は各自の負担となります。

(2) 登録料・活動費等の納入

毎年、次年度の登録作業時(概ね2月頃)に、集金しています。

臨時に必要な費用はその都度徴収いたします。



8 その他

岸和田第4団では、スカウトへの良い指導と、楽しい活動に努めています。

より良い活動とするためのご意見・ご要望があれば、いつでもご遠慮なく、団委員長、指導者などへご連絡ください。

疑問点等についても遠慮なくお問い合わせください。



ボーイスカウト岸和田第4団 必要経費概要

① 加盟登録料(共済掛金) (円)

加盟登録の月	スカウト	備 考
H30 年 4 月～H31 年 3 月	<u>6,000</u>	共済掛金を含む

*加盟登録と同時に、活動中のケガ等に備え「ボーイスカウト日本連盟そなえよつねに共済」に加入します。 未登録の保護者や兄弟姉妹等は、共済の適用範囲では有りません。

*スキーツアー等特別な活動ではその都度別途保険に加入することがあります。

*当団では保険加入以上の責任は負いませんのでご承知ください。

② 活動費（半期ごと）

隊	金額（円）	備 考
ビーバー隊	<u>5,000</u>	
カブ隊	<u>15,500</u>	
ボーイ隊	<u>15,500</u>	
ベンチャー隊	<u>2,500</u>	

*活動内容により、別途活動費用が必要な場合があります。

③ 制服・書籍類の費用 (円)

項 目	ビーバー スカウト	カブ スカウト	ボーイ スカウト	ベンチャー スカウト
制 服	約 4,000	約 17,500	約 15,000	約 650
書籍類				

※別途、装備品は必要に応じて準備が必要です。（食器類・リュック類・手旗・寝袋等）
詳しくは、各隊指導者へ相談してください。

④ スカウト会館維持費（新規入隊時のみ） 6,000円

活動拠点であるスカウト会館（福祉総合センター内）の修繕費・電気代等に
充当されます。（初回登録時 1 回限り）

⑤ 保護者や兄弟等の保険について

*保護者や兄弟等で希望者は、実費にて共済に加入できます。（800 円/年）

*特別な活動ではその都度別途保険に加入することがあります。

*当団では加入保険以上の補償はできませんのでご了承ください。

また、団や隊、指導者個人としても責任は負いませんのでご承知ください

(メモ)



日本ボーイスカウト岸和田第4団

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/kishiwada4/>

メールアドレス bs.kishiwada.4@gmail.com

第 4.0 版 平成 30 年 4 月 18 日 作成

第 4.1 版 平成 30 年 5 月 28 日 修正

第 4.1 HP 版 平成 30 年 6 月 28 日 作成